

●つながる緑●

緑はつながり、かたまることでより大きく、良好な環境を形づくっていく。
新たに緑を植えるとき、隣地の緑や公共空間の緑と
一体化させるような配慮によって環境の豊かさをつなぐことができる。



街路の緑との連続性に配慮した玄関先「クラブ関東」

対

手法

関連キーワード

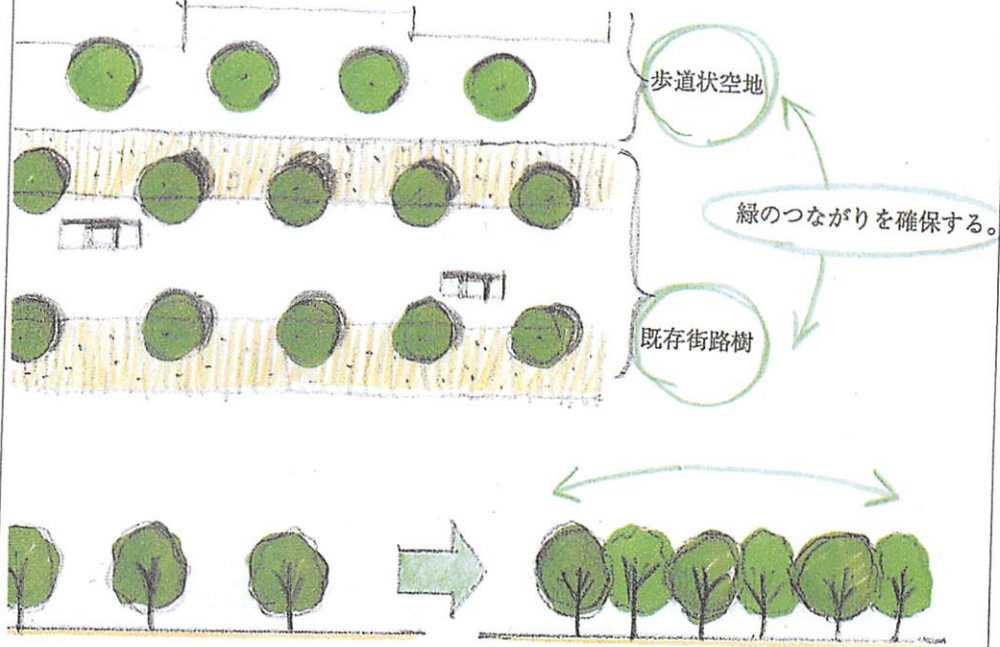
緑
あいび
身近な

対 処

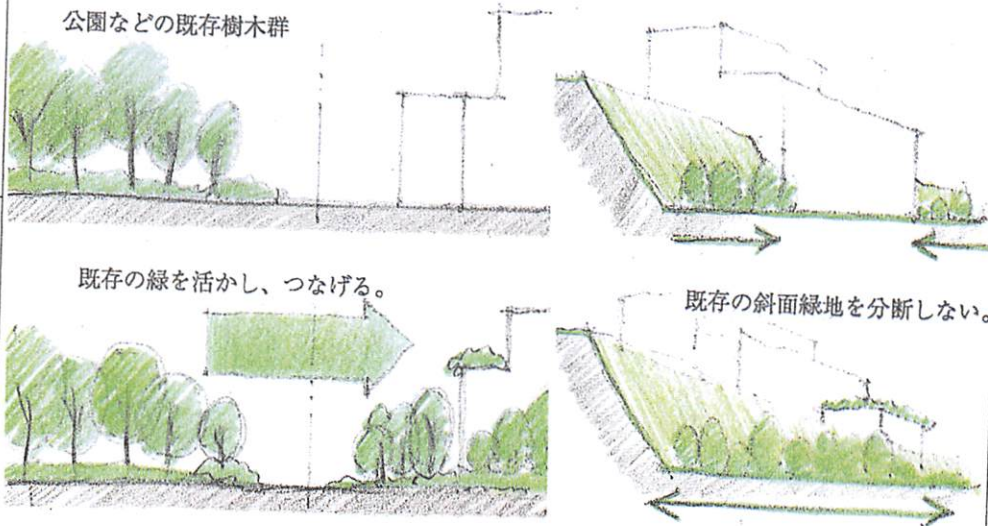
新たに植える緑は、計画地単位で完結させるのではなく、既存のまとまりのある公共空間などの緑と連続させていく。

手法例

■歩道状空地では無理に高密度な列植をせず、既存街路樹を活かし同一樹種を植えるなどして連続性を考慮する。



■公園や緑の多い場所に接する敷地は、緑を敷地内に引き込んだり、対比させるなど、既存の緑と関連づける。また、残存する斜面緑地などのつながりを分断しないようにする。



関連キーワード

- 緑の環 ●32
- あいだの緑 ●46
- 身近かな花 ●48